

残渣・資源再生利用センター(R3C)-(独)国立環境研究所 廃棄物管理技術に関する合同ワークショップ (最終版)

期日：2013年7月3日(水)

場所：南洋工科大学構内R3C

	プログラム	発表者	
9:00 - 10:30	オープニングセレモニー		
	歓迎の挨拶	テイ長官(シンガポール環境庁)	[10分]
	開催の挨拶	白石地球審(日本環境省)	[15分]
	シンガポールと日本における廃棄物管理・焼却技術について		
	資源回収システム	ワン・ジンユアン教授(R3C)	[15分]
	シンガポールの廃棄物管理の眺望	シンガポール環境庁ファジル・スパート	[20分]
	日本の廃棄物処理の全体像と都市一般廃棄物の焼却および溶融技術の開発と経験	川本博士(国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター副センター長)	[20分]
	質疑応答セッション		[10分]
10:30 - 11:00	休憩/ネットワーキング・セッション		
11:00 - 12:10	焼却灰の再利用の環境ガイドラインに関する発表		
	土地造成における都市一般廃棄物焼却灰の活用に向けたシンガポールの環境ガイドラインの策定	スン・シャーロン博士(シンガポールR3C)	[20分]
	焼却灰と溶融スラグの使用、安全性、品質管理	肴倉博士(国立環境研究所)	[20分]
	質疑応答セッション	モデレーター:ワン教授(R3C)	[30分]
12:10 - 13:40	昼食/ネットワーキング・セッション		
13:40 - 15:00	焼却灰の再利用のための処理技術に関する発表		
	技術の特徴とメリット、技術の応用	近藤 守(日立造船)	[20分]
	技術の特徴とメリット、技術の応用	樋口 真司(JFEエンジニアリング)	[20分]
	焼却灰の加速炭酸化と処理技術としての限界	リン・ウェンリン(R3C)	[20分]
	質疑応答セッションとまとめ	モデレーター:川本博士	[20分]
15:00 - 15:20	休憩/ネットワーキング・セッション		

15:20 - 16:20	焼却灰の再利用の課題に関する討議	<p>パネリスト</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トーウィーキアン (シンガポール環境庁) 2. ワン教授 (R3C) 3. 肴倉博士 (国立環境研究所) 4. 樋口真司 (JFEエンジニアリング) 5. 近藤 守 (日立造船) 6. 長田 守弘 (新日鉄住金エンジニアリング) 		
16:20 - 17:00	廃棄物管理に関するフィールドトリップ		視察先(仮): 南洋工科大学の環境・水研究所	
* プログラム終了 *				